



ダイヤモンド
シティ
小美玉
見つける。
みがく。
光をあてる。

小美玉の今を伝えるマガジン

2021年
September

9

広報

おみ
たま

第186号

contents

[特集] 実は身近な SDGs	2-9
気になるあの	12
わだい	14-15
TOPICS	16-17
四季の歌	19
4コマ小美玉暮らし	20



実は身近な

SDGs

マンガで
解説!!

地球にやさしく編



実は身近な

SDGs

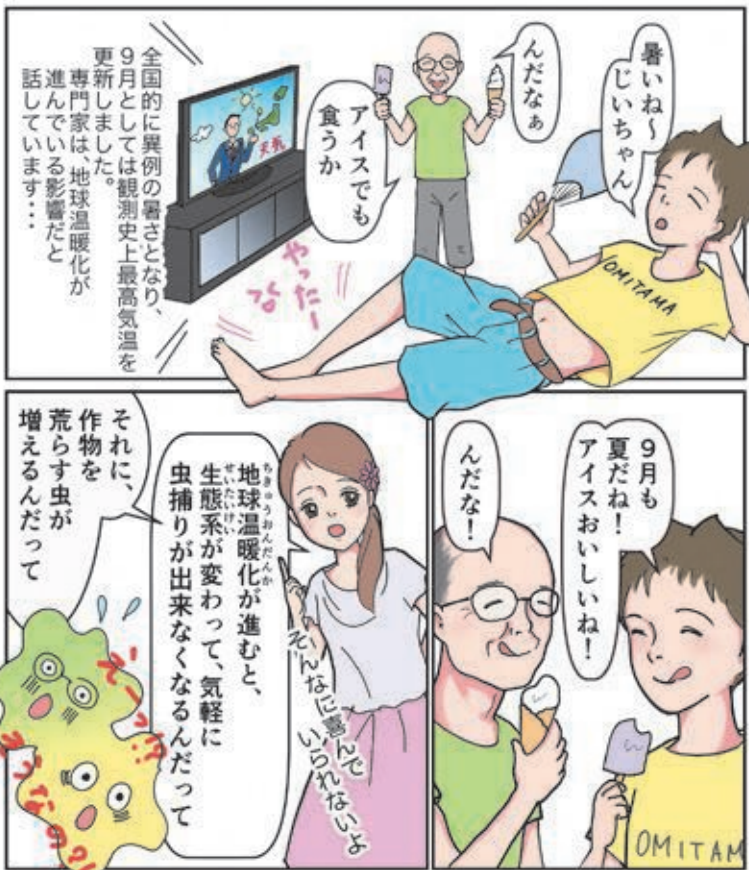


地球にやさしく編

小美玉の今を伝えるマガジン



テレビや雑誌、SNSでも取り上げられることが増えてきたSDGs(エスディーゼーズ)。見聞きする機会は増えたけど、難しそうでよくわからない・・・そんな方も多いのでは。「自分には関係なさそう?」いえいえ、そんなことはありません! SDGsの入り口は身の回りに潜んでいて、自分と世界がつながっていることを教えてください。そう、この物語の主人公「おみた」も、ひょんなことからそのことに気づくのです――。



第1話 なに? SDGsって

今月の表紙



登場人物

おみた
小学6年生。じいちゃんな男の子。じいちゃんと虫捕りをするのが好き。

じいちゃん
おみたの祖父。生まれながらの小美玉市民で、米農家。趣味は野菜作り。

たま美
おみたの姉。大学1年生。大学で学んだ環境問題に興味がある。

漫画 RIKA



市内在住のチョークアーティスト。アート制作のかたわら、チョークアートレッスンも行う。絵本「はらぺこミミの世界ごはん」が県内書店やネット書店で販売中。

■地球温暖化の影響
地球温暖化とは、大気中にある二酸化炭素(CO2)などの温室効果ガスが増え過ぎ、熱が地表にたまることで、気温が上昇したり、地球全体の気候が変化することをいいます。
このまま地球温暖化が進むと、異常気象が今よりも起きやすくなります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGs(持続可能な開発目標)は、「世界中のみんなが健康で豊かに長生きできるように、世界を変える」ためのリスト。「今の世界を変えなきゃいけない」という危機感をもとに世界中のさまざまな立場の人が話し合い、2015年の国連サミットで採択されました。「2030年にこうなっていたい」という明確な目標を共有することで、今すべきことを一人ひとりが考え、行動することができます。 SDGsの17個のゴールを詳しく知る▶

国連広報センター



今日から
アクション

冷房の温度設定を28度に 家電はこまめにスイッチオフ

小さな節電も積み重ねれば大きな成果に。こまめなスイッチオフ、使っていない家電のプラグを抜くなど、節電に取り組みましょう。

水を大切に使う

シャワーや歯磨き、食器洗いをするとき水を流しっぱなしにしていませんか？水道水を作るにも、汚水処理するためにもたくさんのエネルギーが必要です。日頃、どのように水を使っているか振り返ってみましょう。

■カーボンニュートラル
現在の世界の目標は、2100年までの気温上昇を1.5度に抑える(※)こと。そのために始まっている取り組みが、気温上昇の原因である温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」です。
省エネや再生可能エネルギーを普及させたり、石油でできた製品を減らしたりして、温室効果ガスを排出しないようにし、排出した分は吸収して影響が出ないようにします。

例えば、大雨による冠水や竜巻がたくさん発生したり、夏に40度を超える猛暑が続いたりします。水不足による不作で、野菜の値段が高騰することも増えると考えられます。

第2話

買い物でSDGs

買い物に出かけたおみたち。
近くのスーパーに並ぶ商品の中にも、
SDGsの取り組みをたくさん見つける
のでした。



■使い捨てプラスチック

私たちの生活には、ペットボトルや商品の包装など「使い捨て」のプラスチック製品があふれています。石油から作られるプラスチックは、焼却するときに温室効果ガスが排出され、地球温暖化の一因に。また、処理されずに捨てられると、海に流れ込んで海の生き物に影響を与えることもあります。

一度しか使わないのに地球への負担が大きい、使い捨てプラスチックを減らす取り組みが広がっています。レジ袋の有料化、ラベルがないペットボトル、チョコレート菓子の包装が紙になったのもその一つ。マイボトルを使う、使い捨てスプーンやストローはもらわないなど、個人でできることもたくさんあります。

■エンカル消費

地球環境や人権、動物福祉などに配慮した商品を選んで買うことを、エンカル（倫理的な）消費といいます。買い物という身近な行動を通して、世界の問題を解決することに貢献できます。





今日からできる! アクション

マイバッグを持ち歩く



プラごみ削減のため、2020年7月からお店のレジ袋が有料になりました。出かけるときにいつもマイバッグを持ち歩けば、急なお買い物でもあわてません。

冷蔵庫の中身をチェック



買い物前に冷蔵庫の中を見て、忘れられている食材はないかチェックしてみましょう。すでにある食材をまた買ってしまふことを防いで、食品ロスを削減できます。

地元野菜を買う(地産地消)



ちさんちしょう
地元でとれた野菜を地元で食べることを地産地消といいます。野菜を運ぶためのエネルギーが少なくすむので、環境にやさしい買い方です。新鮮でおいしいものが食べられるというメリットも。

環境ラベルがついた商品を買う



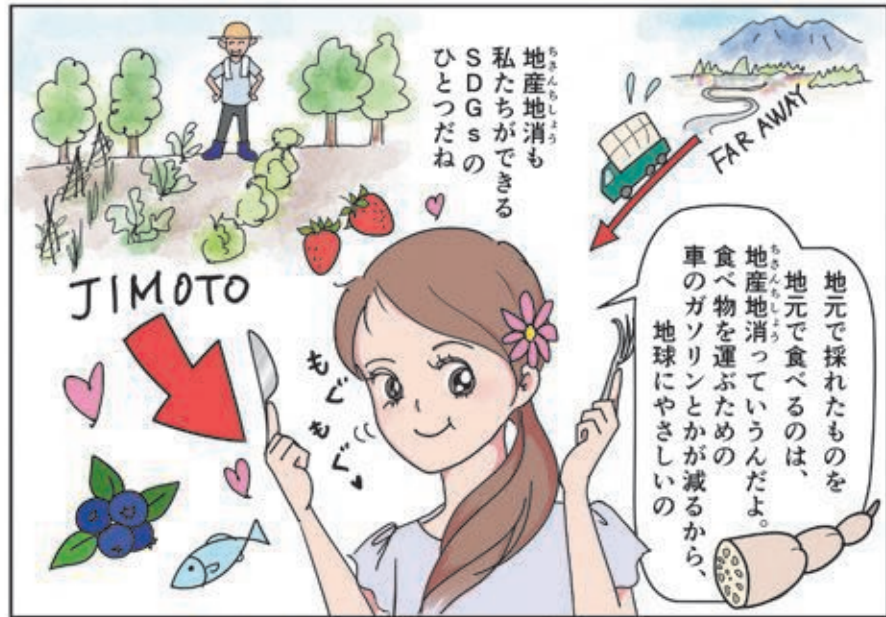
環境に配慮した商品についている環境ラベルをご存じですか?「エコマーク」、「海のエコラベル」などがついた商品を選ぶことで、買い物を通して環境や社会に貢献することができます。



マイボトル持参、大歓迎! 地産地消も進めています

マイボトルを持ち込んでドリンクを注文されるお客様が増えています! 飲み口つきのフタにしてストローを減らしたり、ホットサンドの食材に地元産のものを使うよう心がけたりと、できることから始めています。

カフェパール まつのが舎 (空のえきそ-ら-内)
松尾 紀子 さん



家庭では、食べ残し、賞味期限切れによる廃棄、皮のむき過ぎなどで発生します。買い過ぎないために在庫を確認してから買い物に行く、無駄を出さない調理の工夫が必要です。すぐ食べるものなら、販売期限が迫った手前にある商品を選ぶ「てまえとり」で、お店の食品ロス削減にも貢献できます。

本来なら食べられるのに捨てられてしまう食べ物のごとです。日本の1年間の食品ロス量は、年間約600万トン(2018年度推計)。毎日、1人当たりお茶碗1杯分のご飯を捨てている計算です。もったいないだけでなく、ごみが増えると資源の無駄遣いにつながり、地球温暖化を進めてしまいます。

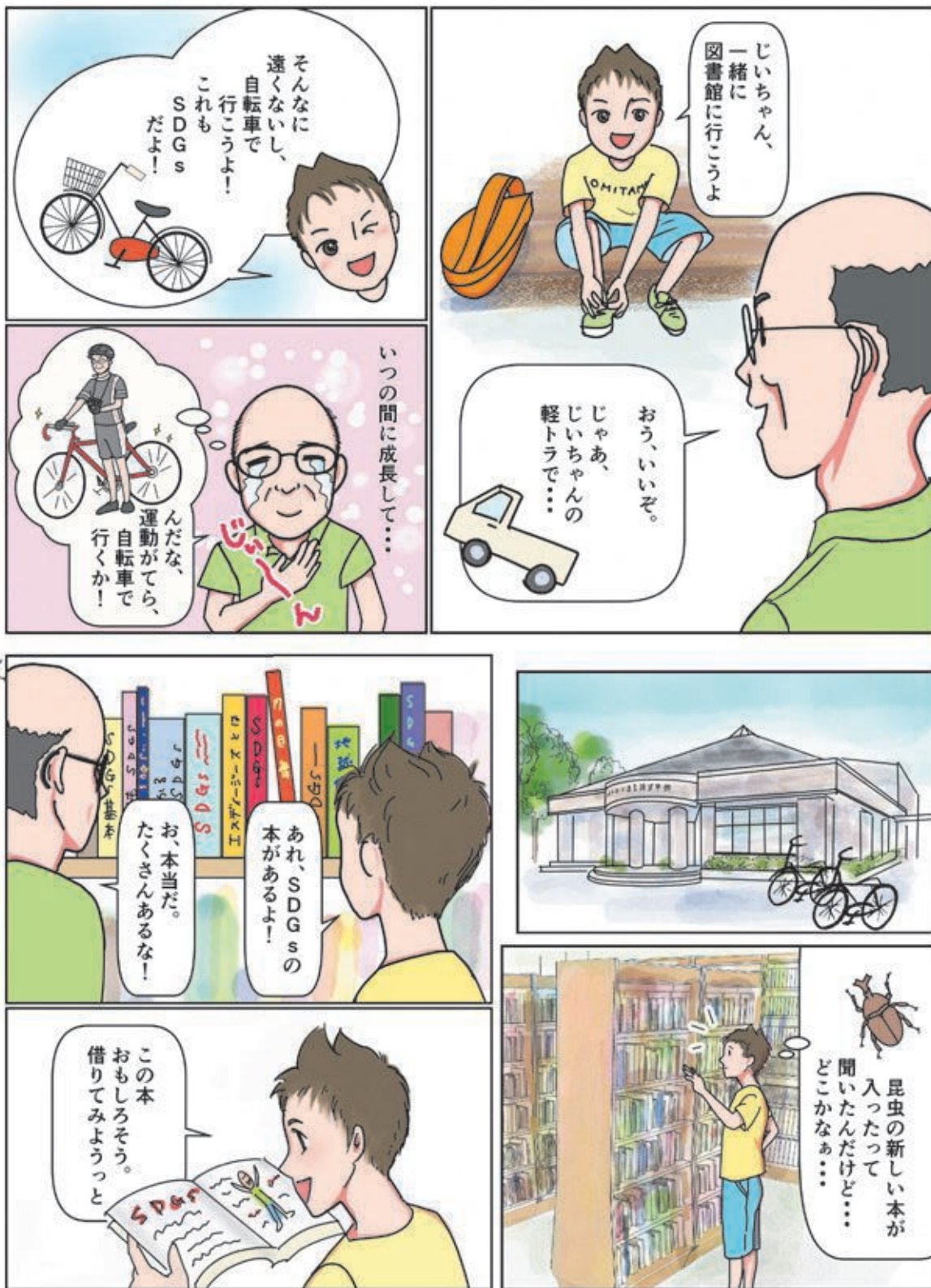
食品ロス

環境ラベルがついた商品や地元野菜を買うこともエシカル消費の一例です。

第3話

みんなでシェア

だんだんSDGsが身近になってきたおみ太は、
少しずつ行動にも変化が。
そして、おみ太に刺激されたじいちゃんが覚醒？！



■リユース(再利用)

使わなくなった製品を、形を変えずに繰り返し使うことをリユースといいます。買い取りや寄付、物々交換するなどして必要な人に渡れば、ごみを減らすことと同時に、新品を作るための資源やエネルギーも減らすことができます。ごみを再資源化して新しい製品を作るリサイクルよりも、環境にかかる負荷が少ない、地球にやさしい取り組みです。

■絵本のかえっこ

絵本の交換を通してリユースや流通の仕組みを体験できるイベントで、運営には子どもたちが主体的に関わり、大人もサポートしています。読まなくなった絵本を持ってくるとポイントがもらえ、そのポイントで別の絵本を持ち帰ることができます。

おもちやなどを扱う「かえっこ」が全国で開催されており、小美玉市内では2011年から市民グループが「絵本のかえっこ」を始めました。現在は、市内で開催されるコンサートやイベントに合わせて、年に3回ほど実施しています。





今日からできる！ アクション

近くのコンビニに自転車で行く



すぐ近くのコンビニに行くにも、車で出かけるのが習慣になっていませんか？ 徒歩や自転車、バス、電車などは環境への負荷が少ない移動手段（スマートムーブ）です。

物を捨てる前に、使う人が他にいないか考える（リユース）



自分は使わない物でも、必要としている人がいるかもしれません。不要になった衣類、家具、電化製品を使ってくれる人がいないか考えてみましょう。リユースショップやフリマアプリも便利です。

ちきゅうおんだんか SDGsや地球温暖化を学ぶ



テレビ、新聞、本、インターネットなどで、SDGsや地球温暖化について調べてみましょう。市内の図書館では、SDGsをテーマにした絵本やわかりやすく解説した本を借りることができます。

さらに... SDGsを楽しく！

「今日からできるアクション」に挑戦したら、次のページの「おみたま環境エコポイント」にも参加してみてください！ 今日からできることが他にもないか、考えてみよう！



脱プラスチックへの挑戦
壁瀬 京子、
+NHK BS1スペシャル取材班/著

脱プラスチックに向けた動きを、関係者の証言を交えて紹介しています。



図解SDGs入門
村上 芽/著

たくさんの目標やターゲットがあるSDGsを、身近な視点から紹介。



こどもSDGs
秋山 宏次郎/監修 パウンド/著

今世界で起きていることを学び、SDGsを自分ごととして考える本です。



ハブラシの大サミー
M・G・レナード/文
ダニエル・リエリー/絵 青山南/訳

捨てられたハブラシの旅を通して、プラスチックごみのことを学べます。

もっと知りたい！ SDGsの本

他にもあります！
図書館に遊びに来てね♪



多様性豊かなふるさとの自然を大切に

—— 小美玉生物の会



市内の生物調査を、24年前の設立時から毎月継続しています。ずっと調査をしてきたからこそ、生物の変化を強く感じています。以前は九州でしか発見されていなかった蝶が、冬が暖かくなったことで北上し小美玉市でも見つかったり、幹線道路沿いには、今までこのあたりにはなかった帰化植物もよく見かけます。地球温暖化の影響だけではなく、人の手で生息地が広がるなど、人間活動全体の影響があると思います。虫でも植物でも、「きれい」「おも

しろい」と思うものに出会って感動すると、もっと知りたいという気持ちが生まれて、それが自然を大事にしたいという意識が育つのではないのでしょうか。小美玉市には、人の手で保たれてきた豊かな里山や水辺があり、実は自然の宝庫です。子どもたちが実際に見たり触ったり体験する機会を手助けしたいと、市や学校の自然観察教室にも協力しています。自然に親しんでもらうことで、ふるさとの自然を大切に思う気持ちを育てていきたいです。



小美玉生物の会

生物調査、環境保全、自然観察教室、会報や書籍の発行をしています。会員は30名。小学6年生から80代まで幅広い年代ですが、みんな生き物が好きなので話が合います。昆虫、植物、野鳥など、それぞれに詳しい分野があって視点が違うので、一緒に調査に歩くと、思わぬ発見があります。毎月第4日曜の定例調査会には、会員以外の方も参加できます。



詳しくはこちら



会長 櫻井 浩さん

SDGsに取り組む事業所

家計応援・幸せサイクルのお手伝いを 学生服のリユース



詳しくはこちら

学生服リユースShop さくらや 小美玉店
井坂 真理子 さん

高価な学生服は、リユースできれば経済的に助かる家庭も増えると思い事業を開始。買い取りや寄付で集まった学生服を丁寧に補修・洗濯して、年間1000着以上を販売しています。ごみ削減や地域に仕事を生むなど、貧困の問題以外にもいろんな面で地域をより良くすることに貢献できていると感じています。

問い合わせ

学生服リユースShop さくらや 小美玉店(井坂文具店内)
☎0299-48-0237

SDGsを楽しくアクション!

おみたま 環境エコポイント

応募締切 10月29日(金)まで 消印有効

「今日からできるアクション」に挑戦したら、おみたま環境エコポイントにも参加してみませんか？市ホームページで応募用紙を入手し、25個ある地球にやさしい行動のマスに実施日を記入。埋まったマスの列で、ビンゴを目指しましょう！2列以上ビンゴすると、景品があたる抽選に応募できます。

Aコース (30名)

QUOカード
3,000円分

Bコース (30名)

おみたまヨーグルト
3,000円分



詳しくはこちら



応募先・問い合わせ
小美玉市環境フェスティバル
実行委員会(環境課内)
☎0299-48-1111
(内線1141・1142)



自分と世界のつながりを想像しよう

自分には関係ない？

世界の課題と聞いて、身近に感じられない人もいると思います。しかし、私たちの生活は想像以上に世界とつながっています。

例えば、コンビニでコーヒーを買うことを考えてみましょう。材料のコーヒー豆は遠く離れた国の人たちが育ててくれたもので、それを家の近くのコンビニまで運んでくれた人がいるはずですよ。

私たちは、ご飯を食べたり、買い物をしたり、働いてお金を稼いだりして社会とつながって生活しています。完全に自分一人の力で生きている人はいません。あなたは世界を作っている一人で、あなたを含むみんなが力を合わせることで、世界を変えるために必要なのです。

大人のお手本は「子ども」

環境問題に関しては、子どもたちの意識や行動がお手本です。今の子どもたちは、ごみの分別は反射的にできますし、ポ

イ捨てもしません。地道な教育の成果といえます。一方で、大人はそういう教育を受ける機会が少なく、環境への意識が育ちにくいのです。だから、子どもから指摘されて、戸惑ったときが意識を変ええるチャンス。子どもをお手本に、ぜひ行動してみてください。

「誰かが苦しんでいないか？」想像してみよう

SDGsの多くは環境問題に関することなので、その観点から生活を見直すと取り組みやすいです。例えば、家の中、学校や職場、よく行くお店などの自分の身近な範囲で、エネルギーを使いすぎているか、ごみを減らせないかと考えてみましょう。そこで自分ができそうなことから始めてみます。落ちているごみを拾う、などの簡単なことでもいいですよ。

サプライチェーン（商品が作られて私たちの手元に届くまでの流れ）に思いをはせることも、自分にできることを探す一歩

です。冷たいアイスを買っても買えたり、車や電車など便利な移動手段があったり、「自分の暮らしが何によって成り立っているか？」、「そのことによって誰かが苦しんでいないか？」と想像力を働かせることが、次の行動につながります。



茨城大学 人文社会科学部 教授

蓮井 誠一郎さん

国際政治学を中心に、平和学、環境政治、環境安全保障論などを扱う。2020年4月からは学長特別補佐として、茨城大学のSDGs推進を担当。茨城大学 地球・地域環境共創機構長。

霞ヶ浦に面する大井戸平山区。筑波山も望める美しい風景が広がる。